

株式会社ゼネックITソリューションズ



基幹システムの運用も可能な高品質クラウド サービスの基盤を拡充
Cisco UCS C シリーズとファブリック インターコネクで
運用のさらなる効率化と遠隔拠点のシステム管理を実現



導入ソリューション

クラウド サービスの基盤を強化し、サービス品質の向上、運用管理のさらなる効率化を実現

- ・ Cisco Unified Computing System (Cisco UCS C シリーズ)
- ・ Cisco UCS ファブリック インターコネク

導入前の課題、検討事例

- ・ 1 人の担当者が複数の業務を兼任するため、サービスの運用管理における業務負担の削減、効率化は重要だった。
- ・ 九州のデータセンターに追加するサーバシステムを遠隔管理する必要があった。
- ・ 顧客要件に合わせてネットワークを構成する際、サーバやスイッチなど機器の設定作業にかかる負担が大きかった。

導入効果

- ・ Cisco UCS とファブリック インターコネクにより、サーバやネットワークの設定を集約し、作業時間を 2 ~ 3 割ほど短縮できた。
- ・ Cisco UCS Manager を用いて遠隔地の設備を直感的にわかりやすく管理できる環境が実現された。
- ・ サーバやネットワークの設定を柔軟に適用でき、サービス 導入前の設計段階から実運用段階まで、プラットフォームの展開速度が向上した。

京都に本社を置くゼネックITソリューションズは、中堅中小企業向けの基幹システムの構築やアプリケーション開発を数多く手掛けており、顧客の要件分析から導入、導入後のマネジメント サービスまでをワンストップで提供している。近年クラウド サービス「CloudCube」の展開を積極的に進めている同社は、関西圏のデータセンターに加えて、2015 年から九州のデータセンターでもサービスの運用を開始し、設備を増強。そこにインテル® Xeon® プロセッサを搭載した Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) を採用した。

経緯

より確実なデータ保全のためクラウド サービスの設備を増強 運用管理のさらなる効率化に向けて Cisco UCS の導入を要望

ゼネックITソリューションズのクラウド (IaaS) サービス「CloudCube」(以下クラウドキューブ) は、基幹システムや業務システムの構築実績が豊富な同社ならではの強みを活かし、基幹システムを載せることができるクラウド サービスとして好評を得ている。ユーザ企業の 8 割ほどが実際に基幹システムをクラウドキューブ上で運用しており、プラットフォームとしての安定性や信頼性の高さを示す根拠ともなっている。

今回、九州のデータセンターにクラウドキューブの設備を増強し、そこに Cisco UCS を導入することになった背景を、取締役 兼 ソリューション事業部長の鹿島弘之氏は次のように話す。

「2011 年の東日本大震災以降、関西のお客様でもデータ保全の一環としてデータセンターを利用されるケースが増えてきました。これまで当社は関西圏のデータセンターでクラウドキューブを運用してきましたが、全国でお客様が増えてきたこともあり、サービス基盤を増強すべく新しいデータセンターの場所の選定から始めました。最終的に立地は九州に決まり、関西圏のデータセンターと連携させて、より確実なデータ保全ができる体制を整えています。

設備が本社と離れた地域にあり、遠隔で対応することになるので、導入するサーバシステムの選定は運用管理性の高さを特に重視しました。そこで、Cisco UCS が最適だと判断したのです。」

クラウドキューブの運用はもとより、同社ではエンジニアの業務効率をいっそう高めることが大きな課題になっていたという。ソリューション事業部 システムチーム テクニカル エンジニアの五十嵐渚氏は、次のように話す。

「当社では 1 人の担当者が開発から運用保守まで複数の業務を並行して担当するので、一つひとつの業務をいかに効率化するかは重要なポイントでした。お客様も増加しており、効率化を確実に進めることは必要不可欠だったのです。以前から Cisco UCS は運用効率が良いという評判を聞いていたので、エンジニア陣の要望として、新しいサーバシステムを採用するなら Cisco UCS にしてほしいとリクエストしていました。」



インテル® Xeon®
プロセッサ搭載

業界最高水準の
パフォーマンスを実現
Cisco UCS



株式会社ゼネックITソリューションズ
取締役 兼 ソリューション事業部長
シニアITコンサルタント
鹿島 弘之 様



株式会社ゼネックITソリューションズ
ソリューション事業部
システムチーム
テクニカルエンジニア
五十嵐 渚 様



株式会社ゼネックITソリューションズ
ソリューション事業部
事業部長補佐 兼 営業チーム長
シニアソリューションセールス
牧野 弘之 様

プロセス

ハンズオンへの参加など積極的に情報を収集 設計段階から Cisco UCS の柔軟性の高さを実感

今回の導入を決める前から、同社のエンジニアは Cisco UCS のハンズオンに参加するなど、製品への理解を深める取り組みをしていたとのこと。実地経験を経て Cisco UCS ならではの管理性の高さ、そして従来のサーバシステムとのコンセプトの違いなどを把握していったと鹿島氏は話す。「最初は我々も少し誤解していた面があり、ブレードサーバ (B シリーズ) でなければ Cisco UCS 本来の効果が薄れてしまうのではないかと感じていました。しかし実際に触れてみて、ラックマウントサーバ (C シリーズ) でも同様に管理が楽で、当社の課題解決に必要な効果を得られることを改めて認識できました。

現場のエンジニアにとって、運用管理の際にインターフェイスが直感的でわかりやすいほうがいいのは言うまでもありませんが、その点でも Cisco UCS は一番良い選択でした。」

五十嵐氏は、クラウドキューブの運用に関する特長として自動化を挙げ、Cisco UCS のコンポーネントであるファブリック インターコネクト (以下 FI) の存在が設計段階から効果をもたらしたと話す。

「クラウドキューブはサービス立ち上げ当時から、なるべく効率的に運用できるよう、自動化の部分に力を入れて開発しました。Cisco UCS は FI があることで、サーバへの設定適用をはじめ、これまで機器ごとに行ってきた作業を集約できるのがいいですね。プラットフォームとしての展開はかなり早くなり、作業時間も 2 ~ 3 割は短縮されています。」

一方で、サーバシステムとしてのコンセプトの違いに、最初は戸惑った部分もあったと五十嵐氏は振り返る。

「サービス プロファイルの概念は、これをうまくクラウドキューブの運用に取り入れるにはどうすればいいのか、イメージを具体化できるまで少し時間がかかりました。戸惑いを乗り越えて適用の仕方がわかってくると、とても良い仕組みだと実感できます。プロファイルを適用して再起動すれば、サーバの構成をアメーバのようにいかようにでも変えられます。サービス インの直前まで設計変更を行っていたときも、組み合わせを変えることですぐ設計に合わせられる柔軟性の高さは、すごくメリットと感じました。」

効果~今後

顧客要件に合わせたネットワーク構成の変更も迅速に Cisco UCS Manager による遠隔管理も高評価

九州データセンターに導入した Cisco UCS は、トラブルなく運用を続け、多数のユーザ企業に安定したサービス基盤を提供している。課題だった運用効率の改善を実感し、パフォーマンス面でも顧客にメリットをもたらしていると五十嵐氏は話す。

「FIのおかげでネットワークの構成変更が非常にしやすく、またスループットも非常に良いので、お客様に良い環境をお使いいただけていると思います。九州データセンター内の設備は FI でネットワークを集約しており、運用の簡素化、効率化はエンジニア陣も強く感じています。

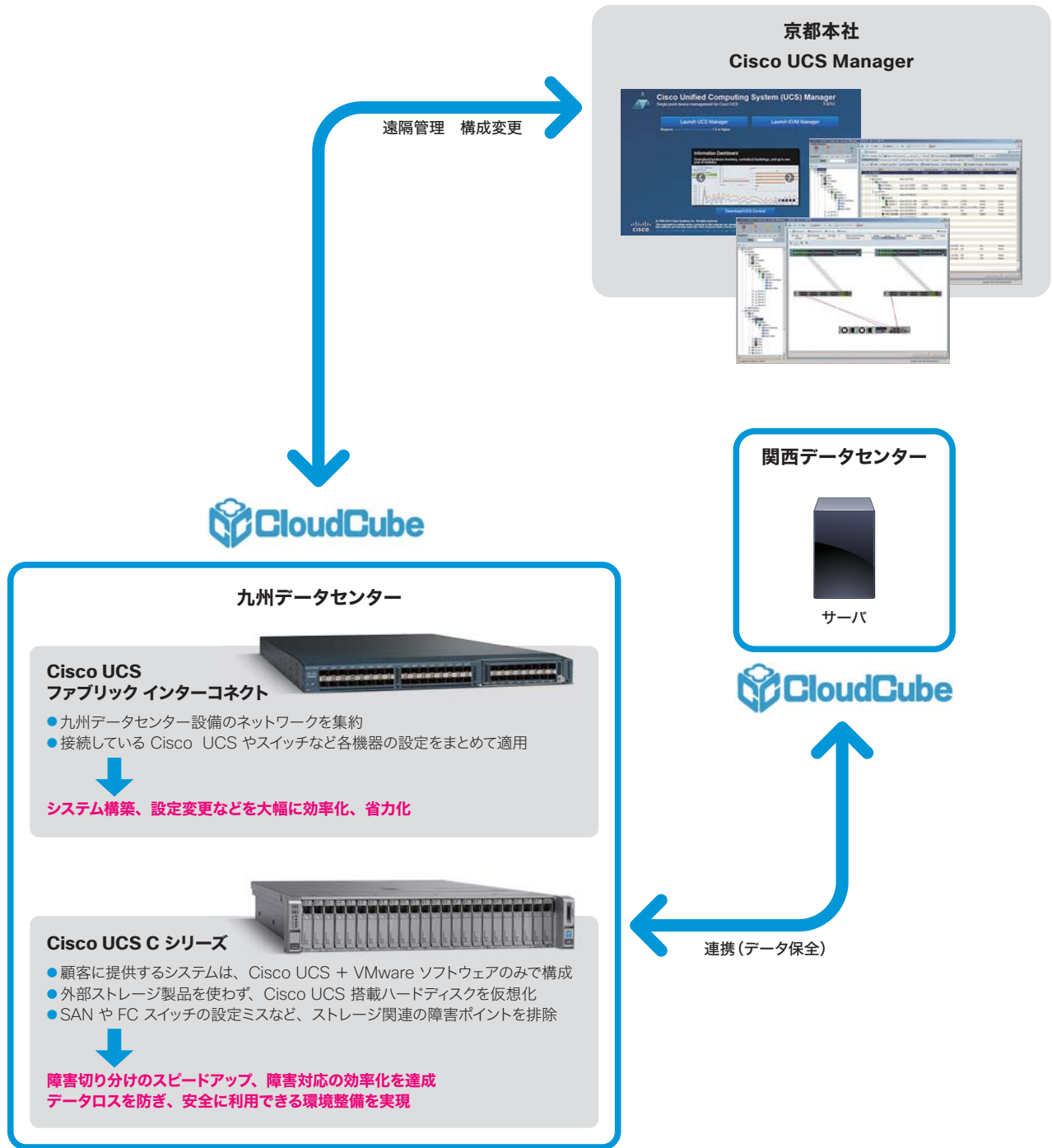
また、実際の機器は九州にあるので、本社 (京都) から遠隔で対応する際に Cisco UCS Manager がとても役立ちます。機器の設定や状態を直感的に把握でき、扱いやすいです。従来の (他社の) 管理ツールは統合管理と言いつつ画面が異なることや、別画面に遷移した後に元の画面へ戻れなくなるなど使い勝手がいまひとつでしたが、Cisco UCS Manager では本当に 1 つの画面ですべてを把握できます。まさに統合管理ツールと言えるでしょう。」

鹿島氏も、今回の Cisco UCS 導入による効果を実感していると、率直な感想を述べる。

「今回の設備増強は、アプリケーション開発におけるアジャイル開発のような感じで、設計しながら設定していくというやり方でしたが、FIがあったことで設計に応じた変更が容易で、実際の構築時間も短縮できました。

クラウドキューブではお客様自身でテナントごとにネットワークを構成するので、バーチャル LAN をかなり使います。その際も機器の構成がシンプルに保たれ、設定の変更が即座にサーバに反映されるのは、非常に便利です。今後九州の設備はサーバの台数を増やしていく予定ですが、デプロイのスピードもだいぶ違ってくると思います。」

運用管理面の効果に加えて、消費電力の少なさもメリットになっているとのこと。実際の測定結果を見て、鹿島氏は驚いたという。



「Cisco UCS C シリーズと FI という標準的な構成で、データセンターのラックに目いっぱい搭載したのですが、想定半以下の消費電力だったのは意外でした。データセンター事業者も、その少なさに驚いていました。」

クラウドキューブの基盤に Cisco UCS を採用したことは、これから同社が顧客へソリューションを提供していく上でも良い効果をもたらすと期待されている。ソリューション事業部 事業部長補佐 兼 営業チーム長の牧野弘之氏は、シスコへの期待を交えて次のように話す。

「当社としては今後もクラウドキューブを展開しながら、オンプレミスの開発も行っていきます。そのシステムのプラットフォームとして Cisco UCS を活用する機会も増えていくでしょう。お客様にご提供するソリューションを自社サービスでも使っているということは、お客様に対する説得力を高め、より付加価値を感じていただけるポイントになると期待しています。シスコには、特長あるソリューションをこれからも生み出してほしいと思います。」



インテル® Xeon®
プロセッサ搭載

業界最高水準の
パフォーマンスを実現
Cisco UCS

株式会社ゼネック ITソリューションズ



本社所在地 京都市中京区烏丸通御池上ル

二条殿町 552 番地
明治安田生命京都ビル 3F

設立 2010 年 8 月 10 日

資本金 1,200 万円

従業員数 正社員 16 名
(2015 年 4 月 1 日現在)

URL <http://www.its.genech.co.jp/>

株式会社ゼネック (1992 年設立) のソリューション事業部を母体として設立され、業務システム、インフラ、仮想化、そしてクラウドと各種ソリューションを幅広く手掛ける。スタッフの技術力の高さとフットワークの軽さを活かし、「街の IT 屋さん」として多様な顧客に親身に対応するとともに、経営における IT の貢献を可視化。導入前の相談から開発、構築、導入後のサポートまでをすべて社内コンサルタントとエンジニアがワンストップ対応していることも特徴。



インテル® Xeon®
プロセッサ搭載

業界最高水準の
パフォーマンスを実現
Cisco UCS

最後に鹿島氏は、同社の目指す方向性を踏まえて、次のように話す。

「当社は 1 人のエンジニアが幅広く業務を行うので、できるだけ負担を少なくすることは重要です。守りにシフトするのではなく、攻めるほうに時間を使いたい、そのために物理環境、仮想環境を問わず自動化をより進めていくことが重要と考えています。今回 Cisco UCS を導入し、これまでと違うコンセプトのシステム環境に触れて、そこがより明確になりました。

シスコ ブランドの信頼感、安心感は抜群にあるので、当社のサービスにも良い効果をもたらしています。シスコには、そうした良いところはこれからも変わらずに、新しい技術や製品、業界標準となるような取り組みを続けてほしいと思っています。」

ビジネス環境への圧倒的な対応力を持ったクラウド サービス



『CloudCube(クラウドキューブ)』は、VMware 社の vCloud Director/vSphere プラットフォームを利用した IaaS 型のクラウド サービスです。

クラウドキューブは、IT システムで利用するハードウェアや OS などを購入するのではなく、弊社の堅牢なデータセンター上の仮想サーバを月額でご利用いただくサービスです。従来のレンタル サーバのようにサーバ単位でのお支払いではなく、CPU やメモリの「量」でお支払いいただけますので、お客様のお好きなサイズのサーバを構築することができます。また Windows や Linux などさまざまな OS をテンプレートとして提供させていただいておりますので、サーバ構築における時間と手間を大幅に削減することができます。

『CloudCube』の特長

- 1 CPU やメモリの「量」でお支払い。しかも月額制
- 2 専用仮想サーバで OS やアプリケーションのご利用が自由
- 3 ご都合に合わせたタイミングでご利用いただける月単位の契約
- 4 必要に応じてスケールアップができる柔軟なクラウド
- 5 自社回線や既存の情報資産をそのまま活用可能

業務系システムをクラウドで稼働させるなら『CloudCube』にお任せください!!

CloudCubeAppConnect

ターミナル サービスに必要なライセンスや環境を月額にてご提供させていただきます (1 ユーザあたり 1,500 円/月)。また Microsoft SQL Server のライセンスをユーザ ライセンスにてご提供いたします。

拠点間ネットワーク

お客様ですすでにご利用されているネットワーク機器を持ち込んでいただき、貴社拠点と同じように VPN 網を構築いただけます。キャリア、サービスを問わずお客様用の回線を引き込むことも可能です。

クラウド サーバへの STEP 導入

Web サーバはクラウド サーバへ移行、当面 DB サーバは物理サーバを持ち込んで利用するなど、既存資産を最大限で活用いただけます。またクラウド上の仮想サーバとご用意いただいた物理サーバのプライベート LAN 接続も可能です。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro、Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2015 年 4 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>